

平成19年度 第1回 自然海浜公園計画検討部会 記録

平成19年9月23日(日)午後6時00分～8時00分

議題 (1)部会の進め方について(2)エージング(耐久性)の考え方
(3)基礎情報の把握と方向性の検討(4)その他

出席 12名 傍聴者 3名

アドバイザー 中村弘和(中村環境事務所)

事務局

金子課長補佐、秋元課長補佐、関原主任

産業振興課：竹内担当主査 海浜課：安部川担当主査 都市計画課：野崎担当主査

景観まちづくり課：石井主査 環境政策課：久永課長補佐

株式会社山手総合計画研究所 長谷川

議事

会長)

本日より自然海浜公園計画部会と景観計画部会という2つの部会に分かれて議論をしていきます。中心となる内容の議論を具体的にして頂きたいと思います。また前回は会議が大幅に延長されたので、規定通りの時間内に終了するようにしたいと思います。この後は、部会の部会長を決定し、部会長により進行していきたいと思います。

本日は送付した資料に追加資料があります。次第と2つの部会の年間スケジュール、推進協議会の方針の一覧表、その他サンプル資料として茅ヶ崎駅北口周辺景観計画のガイドブックを追加させて頂きました。

規約により、部会長を決めたいと思います。部会長の自薦他薦ある方はいますか。

委員全員)

ありません。

事務局)

では事務局より副会長を部会長に推薦させて頂きたいと思います。よろしいでしょうか。

委員全員)

はい。

事務局)

では、よろしくお願ひします。また副部会長については、議事の進行の中で必要に応じてその時に決定していきたいと思います。よろしいでしょうか。

委員全員)

はい。

事務局)

会長、副会長については両部会に参加して頂きます。そして 2 つの部会の議論を統一して頂きたいと思いますので御了承下さい。では議題に入りたいと思います。

部会長)

自然海浜公園計画部会を始めます。本日の議題の中で、特に「基礎情報の把握と方向性の検討」に時間をかけて話していきたいと考えています。

部会進行プログラムについて(資料 P1)

長谷川) = 説明

計画の留意事項についての確認。その中で目的、調整、視点、推進を考え検討しグランドプランを実現させていきたいと思います。自然海浜公園計画・景観計画の策定から実現への流れは説明資料の通りです。

景観部会は、A 地区・B 地区・C 地区について検討を行います。サイクリング道路については公園部会が担当ですが、必要であれば議論し、公園部会との調整をはかります。

景観計画部会の検討にあたっては景観整備を優先して検討することを提案します。また事務局から「土地利用としてのコミュニティの形成について」を議事として追加しました。

部会長)

質問はありますか。

委員)

都市公園ではないことを共通認識した方が良いと思う。自然海浜公園についての意識がまとまっていないと思う。また、区画道路の意味がわからない。

委員)

都市公園の意味は、国立公園のようなものだと思います。

委員)

サイクリング道路の南は漁業の関係上、この部会で決めるのではなく漁業組合との話し合いも必要であると思う。私は代表者の一人であり、組合を通して話を進めたい。

長谷川)

いつ頃が良いですか。

委員)

組合にも都合を聞かなくてはいけないので、後日調整してほしいと思う。

事務局)

「基礎情報の把握と方向性の検討」という部分については、私達も漁業組合と話し合いの場を設けたいと考えています。

部会長)

他の意見はありますか。

委員)

どのような公園を目指しているのか把握したいという事。それと、区画道路の必要性について、また参考資料のガイドブックの参考性について知りたい。また海岸景観ガイドラインを皆さんに配ってほしい。

長谷川)

国土交通省発行の海岸景観ガイドラインでよいですか。次回準備します。

部会長)

では区画道路について。

事務局)

自然海浜公園についての考え方は資料 P3 にて説明してあります。自然修復についてもまとめてあるので、その中で分からない事があれば質問お願いします。区画道路については、昨年度のグランドプランの中に位置づけられている地区内の道路を指します。事業推進プログラムの中で説明したと思いますが、修景などを議論して頂きたいと思います。

委員)

納得できません。

事務局)

昨年、議論した中で修景などについて検討する事になったので御理解お願いします。

委員)

事業プランについては最終決定ではなく、あくまで仮の事業プランだと思います。

事務局)

推進会議の提言をうけ行政計画として市が策定したもののなので、決定事項になっています。

委員)

元議長はどうですか。

副会長)

プログラムは、20 年後までがプラン化されている訳ではなく、これからどのように段階を踏んでいくかという事も踏まえて、基本的な方針をプログラムとして示している。吸収出来るものがあれば、これからの議論結果を吸収していきたい。

事務局)

道路についての議論を深めていってほしいと思います。

委員)

議論した結果、道路が必要ではないと判断されれば、なくなるのか。

事務局)

既存道路は修復を考えています。新たに作る場合は部会で決めていきたいと思っています。

委員)

修復とは？

事務局)

砂地とサイクリング道路を現状のままでいいのか、自然素材を取り入れていくなどの考えについてです。

委員)

個々の事は、個々で解決した方が良い。

委員)

当事者が入っていないグランドプランには意味がない。

委員)

この協議会の目的はなんですか。

長谷川)

昨年度のグランドプランを実現するため、事業化・制度化するための計画をつくる事です。

委員)

グランドプランには不可能なプランも含まれている。

長谷川)

昨年度のグランドプランには地元皆さんの意見があまり入っていません、今回地元の皆さんに参加していただいたのは、地元の皆さんに内容について考えて頂きたいと思っているからです。

委員)

わかりました。

エージング(耐久性)の考え方(資料 P2)

(* エージング = 時間の経過に伴って素材が趣を深める事)

長谷川) = 以下説明の概略

海岸地域は潮や風の影響により非常に厳しい状況にあります。その中で、どのような素材の使い方が適切なのか考えていただきたいと思います。

そのような厳しい環境にあって、砂浜の維持や緑化を行っていくためには、人工的な補助構造物が必要になってきます。コストの面もあるが、海岸の景観を主に考えた場合には、もともとその場所に存在する素材を選んでゆくことが、長い目でみた場合にメンテナンスコストも含めて有利になると思います。木材については耐久性から素材選びが非常に難しい。これらの事を知識として持っておいて頂きたいと思います。

では(3)基礎情報の把握と方向性の検討について議論を進めたいと思います。

基礎情報の把握と方向性の検討について(資料 P3)

部会長)

お祭り広場と漁港について特に議論をしたいと思います。

長谷川) = 説明

(資料 P3) 現在考えられるグランドプラン方針の内容及び課題を説明します。

・お祭り広場

現在のお祭り広場の駐車場は砂浜に戻していく予定ですが、飛砂対策と海浜性植物の生育との両立が課題だと考えています。また、砂丘が形成されると浜降祭の開催に支障をきたすことが予想されます。さらに現在の駐車場容量を確保するために県営駐車場に駐車容量を分担させるプランとなっていますが、これには県営駐車場の運営時間や管理の変更が必要となります。この辺りの解決策について皆さんのご意見をお聞かせください。

・漁港施設

漁港背後地は漁港整備計画の中で位置づけられており、駐車場は、漁港用 1700 m²・魚市場用 1500 m²・遊漁用 700 m²(ピーク時 2200 m²)が予定されています。このうち最小限必要な駐車場を地区内につくる訳ですが、どの程度が最小限なのか、特に遊漁用駐車場の必要容量を中心にご意見をお聞かせください。

・サイクリング通路

レンタサイクルの導入と、県営駐車場へのレンタル拠点の設置が提案されています。こちらについても県営駐車場の運営・管理の変更が必要となります。

部会長)

お祭り広場について質問はありますか。

委員)

砂浜の一部とはどの位か。

事務局)

グランドプランの P25 にイメージ図が書いてあり、そこに書いてある文章を引用しています。左下の部分での修復の考えです。

会長)

駐車場ありきではなく従来の砂浜に戻すのが、このプランの主旨だと思う。どの程度かはこれから検討すべき所である。

委員)

冬場の飛砂が一番問題である。暖かい時期はあまり問題にはならない。お祭り広場への飛砂への対策が重要だと思う。

委員)

その基礎情報が足りていないと思う。それがないと議論はできない。

委員)

砂草について重要な植生はコウボムギである。

私たちの団体で、海岸の南西側の風向きに対してどのような対策をしていくかを、数値で表していこうと考えているため現在調査している。

委員)

波打ち際にはコウボムギは生えない。飛砂に関しては植物が生えていない所がよく飛び障害物になる。植生の場所によっては限度がある。

委員)

検証が必要であり調査します。

委員)

砂については毎年同じ対策をしている。自然現象の対策は難しい。

委員)

浜降祭が現在の場所でできないのなら、代替地を考えなければならないと思う。

会長)

そうならないように議論をしていきたい。

委員)

砂丘形成についての対策が重要である。砂丘が大きくなると、起伏が激しくなり砂止柵が必要になるため、実際にはお祭りが出来なくなってしまう。

委員)

お祭り広場は、浜降祭をやるから現状のままがいいのか。

委員)

そうではない。それ以上に良くなってほしい。

委員)

お祭り広場(事務局注 護岸に隣接する舗装部分)が出来たことで、浜降祭がやりにくくなったと聞いた。浜降祭をするのにベストな方法はありますか。

委員)

砂浜である事です。

委員)

お祭り広場は邪魔なのか。

委員)

全体をお祭り広場というのではないのか。

会長)

砂浜を広場と考えればよいのではないのか。

委員)

護岸に隣接する舗装部分が邪魔である。ない方がいいが、あれがないと大波の時に港や砂浜に大きなダメージが発生する。

副会長)

以前はどうだったか。

委員)

何もなかった。

委員)

浜降祭は、元々海水浴場でやっていた。

副会長)

結構前から現在の場所でやっていたのでは…。

委員)

漁港西の護岸は防災のためにやっている。

委員)

それは続けていくべきだ。ないと海水が入り込んでしまう。現状を知ってもらいたい。

委員)

完全に砂丘化は浜降祭がやりにくくなると思う。車が入れなくなり、道具が運べない。以前は漁港の中を利用して。観客が船に乗って見ていた時代がある。

長谷川)

この場所に砂草が生えた場合、浜降祭で10万人が歩いたら砂草は存続し続けますか。

委員)

程度によります。実際に見て見ないとわからない。本当は立ち入り禁止が望ましいが、そうもいかないので、ボードウォークという案を出した。

長谷川)

わかりました。

委員)

自然が議論の中心では困る。産業や防災やそのほかの人的活動が大事だと思う。

会長)

やはり自由空間も必要だと思う。

委員)

自然に生える草以外は、人工的に感じる。

会長)

御神輿を担ぐ場と砂草の場所は同一にしない方が良い。

長谷川)

分ける形ですか。

会長)

そうです。

副会長)

植生は全部ダメなのか。

委員)

砂丘ならいけると思います。

委員)

現在も駐車場には草が生えている。

委員)

砂浜に戻すのは、駐車場の代替をしてからお願いしたい。

部会長)

基礎情報の把握が必要だと思う。

委員)

代替地を決める時に、決めれば良いと思う。

長谷川)

現在の西側駐車場は面積が 9100 m²あり、粘土質の土が混ざっているので雨水が浸透しにくくなっています。また砂浜に戻すのに約 2 万 m³に 5 万トンの砂が必要になります。

入れる砂を一度に確保できないため、少しずつ駐車場を移転して、移転した分だけ砂丘に変えてゆきたいと考えています。

砂丘をつくるのに現在の土壌を撤去する必要がありますか？

委員)

砂防の垣根をやれば砂はすぐ溜まる。2 年位でいける。

委員)

通行できない位溜まる。現在の土壌の上乗せでよい。

委員)

厚さは 3 m 位あると思う。上乗せでも海浜植生は生えると思う。

委員)

物理的な問題なので、幅の兼ね合いもあるが、柵を 3 列位にして、風の問題を考慮しながら考えていきたい。

長谷川)

今回は図面を持って議論したいと思います。

部会長)

次に漁港についての意見はありますか。

副会長)

紫色部分は何 m²か。

長谷川)

約 4000 m²です。

副会長)

魚市場の計画はないのか。

事務局)

ないです。

副会長)

関連施設もいらぬのではないか。駐車場は 2400 m²でいいのではないか。

委員)

あった方が良いでしょう。

副会長)

ピーク時以外はいいのではないかと。4000 m²だと駐車は130台位になる。

委員)

業者や一般を考えると300~400台は入っている。ピーク時はプラス100台位増える。

副会長)

1日500台なのか。

委員)

そうです。また土日はガードマンが必要だと思う、不法駐車が多い。釣客は朝7時くらいに来る。釣客以外の利用も多いし、モラルのない人も多い。

会長)

管理は重要である。

委員)

管理がないとゴミの問題が非常に酷い。

委員)

現在は火気禁止なのですが、バーベキューについてはいいのですか。

部会長)

パトロール・対策はやっているのか。もしバーベキューなどの需要があるのなら、エリアを限定して有料施設をつくることも考えたい。

委員)

それは自然公園の中の施設として考えるのですか。

部会長)

それなら賛成ですか。

委員)

ええ、もちろん。

事務局)

漁組に関しては管理してあるが、一般的なものに対してはこれから対策を練っていきます。

長谷川)

漁業の保管施設はどんなものを、どれ位入れていくのですか。また土地利用はどうするのですか。

委員)

業務倉庫は足りていないので、ほしい。

副会長)

規模はどの位。

委員)

現在の2倍くらいあれば足りると思う。

部会長)

ではそろそろ、次にサイクリング道路について質問はありますか。

長谷川)

市営プールから西浜までのサイクリング道路について議論をお願いします。

委員)

サイクリング道路は、後退させ海から離すべきである。

事務局)

真っ直ぐなのか、北の方なのか、検討をお願いします。

委員)

その際、プールはどうなるのか。

事務局)

プールについての検討は今年度中に考えていきたいと思います。

委員)

C地区前にサイクリング道路から砂浜に下りられる階段をつくってほしい。

長谷川)

サイクリング道路に自転車置き場スペースが必要とかがいました。どうですか。

部会長)

必要です。

委員全員)

スペースはほしいと思う。

委員)

サイクリング道路に段差を設けないと、砂が溜まると思うのですが。

副会長)

階段が必要なのは避難のためなのか。

委員)

避難と使い勝手の両方の問題です。

副会長)

海水浴場について、組合の皆さんでなにか議論をしていますか。

委員)

あまり議論していない。

部会長)

入れ込み客は減少しているので、利便施設やイベントを考えていかななくてはならない。

副会長)

Tバーの方は駐車場がない人が多いように感じる。

委員)

海水浴場には駐車場はらないと思う。車で砂浜まで入ると、海の家代わりに車で脱衣やシャワーなどを済ませることが出来るから。

駐車場は国道の北側に設けた方がよい。

委員)

駐車場は、皆ほしいと思う。

副会長)

共通認識はそうである。しかし、駐車場がないTバーにはなぜ人が集まるのか。

部会長)

管理者がいないので、バーベキューや音楽を流すなど無法地帯になっている。それらの人には使い勝手がよいのだと思う。どうにかすべきである。

長谷川)

では予定時刻の時間なので、次回具体的な話に基づいて図面を書いてくるので、それを見ながら海の家についてと北側についての議論をしたいと思います。

事務局)

今回は 10 月 14 日(日)です。また資料の郵送がギリギリになってしまうので御了承下さい。

部会長)

では、終わります。お疲れ様でした。

- 終会 -